

◆CVM(仮想市場法)

「環境の持つ価値」のように定量評価が難しい非市場財に対し、金銭的価値評価を行う。

1. 生存時間分析により受諾率曲線を推定

(任意提示金額で回答者がこの金額を受諾する確率の曲線)

2. 地区別の平均支払意思額を推定

(地区別平均支払意思額の地理情報システムによる表示)

◆調査の概要

地域住民の生活基盤の一つである主要交通網の整備・充実は、まちづくりにおいて重要な政策となる。

非市場財の価値計測に対してCVMによる金銭的評価に注目し、兵庫県揖保郡新宮町におけるローカル鉄道のサービス向上を事例に、政策の住民評価を試みる。

凡例

新宮町CVM地図
支払意思額

1375.000000 - 2000.000000
2000.000001 - 3000.000000
3000.000001 - 4000.000000
4000.000001 - 5000.000000
5000.000001 - 8766.666670

JMPを利用したCVMによる政策評価

～ローカル鉄道のサービス向上の金銭的評価を事例に～

兵庫県立大学大学院 応用情報科学研究科 藤尾俊幸 繆青 黒田佳代 田中有紀 川向肇 有馬昌宏